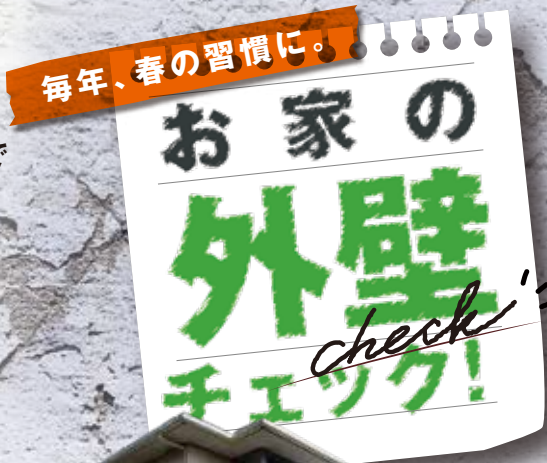


不要不急の外出を避けている今年の春ですが、適度に日光を浴びることも、健康のために必要です。晴れた日は、お家周りをチェックしてはいかがでしょうか？ 厳しい冬を乗り越えた「外壁」は、特に要注意。そこで今回は、外壁のチェックポイントなどを、三井のリフォーム札幌店主任で二級建築士の宮下省吾さんにお話をうかがいました。



		
チョーキング現象	外壁コーキング切れ	外壁凍害
	◎今回お話をうかがった	
	三井のリフォーム札幌店主任・二級建築士	
	<b>宮下 省吾さん</b>	
	取材協力	
三井ホーム北海道株式会社 三井のリフォーム札幌店 TEL.011-729-3131 札幌市北区北10条西2丁目1番地2 ■毎週水曜・日曜および祝日定休		
		
外壁凍害	外壁凍害	

**Q** なぜチェックが必要なのですか？

サイディング、モルタル、ALCなど、住まいの外壁材にはさまざまな種類が使われています。いずれも、寒さや暑さから快適な暮らしを守る役割を果たしていますが、表面の塗装がはがれたり、外壁材に亀裂やサビが発生したり、コーキングにひび割れが発生したりすると、急激に劣化が進んでしまうことがあります。



**A** まずは「チョーキング現象」になっていないか確認してみてください。サイディング、モルタル、ALCなどの外壁は、紫外線や熱、雨風などで塗装面が傷んで、チョークのような粉状になってしまふことがあります。防水効果が薄れて、雨水の侵入が防ぎきれなくなっている可能性がありますので、専門家に相談しましょう。試しに外壁表面を触って手に白い粉が付着したり、外壁に水を掛けて染み込むような状態であれば劣化のサインですのでメンテナンスをお勧めします。



**Q** どんな症状に注意したら良いのですか？



**A** 次に「コーキングの劣化」。サイディングの接ぎ目やサッシ周りは、コーキングというゴム状の充填材で気密防水施工がなされています。このコーキングも劣化してきますので何年にもわたって紫外線を浴びると弾力性が失われ、ひび割れが発生したり、すき間が生じたりして雨水の侵入の原因となってしまう。劣化した部分のコーキングを撤去し、新しいコーキングを打つて、その上で外壁塗装を行うことをお勧めします。



**Q** チェック時の注意点などをお願いします。

**A** 厳しい冬を越え天候が比較的に安定する春は、普段注意識して見るのではない外部を点検する絶好の機会です。特に築後あるいは前回メンテナンスから10年程度経過している場合は、念入りに点検してください。また、外壁と同様に屋根も重要ですので専門家の点検の上、傷んだところがあつた場合は手遅れになる前に直しましょう。外部足場の架設が必要となりますので、屋根と外壁のメンテナンス工事は同時期がお薦めです。



**Q** チェック時の注意点などをお願いします。

**家さがし 春のご成約 キャンペーン開催中!**

ご成約期限 2020年6月末日まで

新聞広告を見た! と言って家さがし掲載物件をご成約された方を対象に、抽選で毎月1名様に「3万円の商品券」をプレゼントいたします!

【ハガキ、又はメールでご応募を】詳しくは「家さがし」のホームページをご確認ください。